

2023年度 学校関係者評価報告書

学校法人聖心学園 聖心学園幼稚園

1、本園の教育目標

カトリックの「愛の精神」を基本に、優しい心・思いやりの心・感謝する心を大切にする

具体的目標

- ・落ち着いて考える子ども
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども
- ・粘り強くやり抜く子ども

本年度重点的に取り組む目標・計画

○落ち着いて考える子ども

絵本の読み聞かせを通して、しっかりと話を聞く習慣を身につける。

○礼儀正しく思いやりのある子ども

「ありがとう」を交わすことで目の前の事象と丁寧に向き合う心を育む。

○粘り強くやり抜く子ども

絵本に登場する主人公の頑張る姿に自分を重ね疑似体験する。

3、評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	取り組み状況
1	対話を重視した活動	サークルタイムを設け、友だちの話に耳を傾けたり、自分の意見を伝えたりする時間を大切にした。
2	挨拶や感謝の言葉を丁寧に表現する	日常の挨拶や感謝の言葉を意識的に伝え合うことで、当たり前の毎日を有難いと感じられるよう心がけた。
3	保育の質の向上	教員の積極的な研修参加により、特別支援を含めた個別対応の能力を向上させた。 外部講師と連携すると同時に、教諭自身が指導法等を習得し保育活動の幅を広げる足掛かりとした。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

重点目標と計画について、全教員が認識し、自己点検・自己評価に取り組むことで

自ら保育を振り返るばかりではなく、様々な課題を見出すことができた。
今後もより良い園経営のために継続して実施していくことを共通理解した。

5、今後取り組むべき課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	個別の対応	個々の発達段階を理解し家庭と連携しながら、個性や特性に合わせた丁寧な関わりができるようになる。
2	保育者の自主性	自分で考えて保育を展開することで、生き生きとした活動を楽しむようになる。
3	保育の計画性	月案会議等、全体で計画の確認を行うようにする。余裕のある立案により、日々の保育の充実と仕事の効率化を図る。

6、学校関係者評価委員会の評価

①晴佐久昌英神父様が大切にしている「ありがとう」を交わすことで目の前の事象と丁寧に向き合う心を育てていることを特に高く評価したい。

12. 回答でAが73%、Bが22%、Cが0%、Dが0%、 19. 子どもが、身の回りのことに感謝の気持ち「ありがとう」と言葉で伝えられるようお手本になっていますか。ではAが57%、Bが39%、Cが1%、Dが1%です。この集計結果は目標が高いレベルで達成されていることを示しています。

②CとDがどちらも0%となっている項目が、12 感謝の気持ち、自分から「ありがとう」が言えますか。 19. 子どもが、身の回りのことに感謝の気持ち「ありがとう」と言葉で伝えられるようお手本になっていますか。 の他にふたつあり、 II4 両親の就労情報以外では、I V3 主導でなく、幼児の主体性を大切にされた保育を行っている、保育者個人情報について、慎重な取り扱いをしている。です。これも高く評価できますがAを増やしたいですね。

③教員数が足りないとの声が上がっていることに対して真摯な対応が必要と思われます。教員が足りていないために起こっていると思われる問題が散見されますので。

以上、全体的に素晴らしい幼児教育が行われていると思います

学校評価委員 松本 勲武

全体的に保護者の皆様の評価も、とてもよかったと思います。
保護者自身も反省、問題点等も視野の入れながら保育が高評価になっていたように思います。

研修への参加も積極的に行われるようになったと感じました。

会議でのあり方で、責任、発言が積極的に行われると各行事での対応、早めの計画、考慮すべき点など詳細に計画することで、慌てることもなく対応し業務負担も軽減されるのではと思いました。会議での発言は大切だと思います積極的に発言してほしいです。

先生方の丁寧な保育が日々行われ、保護者の皆様から感謝されているようです。来年度も建学の精神に則り、丁寧な保育が行われます事を心にとめて過ごされますように。

学校評価委員 相馬たゑ子

大多数の方が幼稚園に安心して通っていると回答している点がすべてを物語っていると思います。

先生方が日案を余裕を持って作成し、吟味した上で行事を行っている点がとても良いと思いました。園に通う園児に対して、業務がたくさんあり大変かと思いますが、全ての職員が前向きにとらえて日々良い保育に努めている点などが保護者にも伝わっているのだと思いました。

学校評価委員 松浦栄子